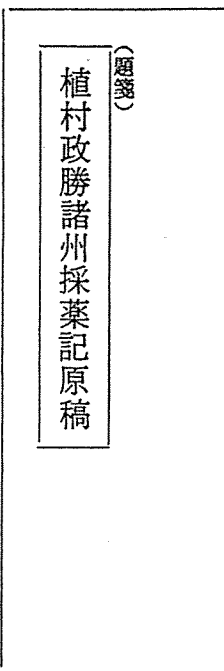


一七 国立国会図書館蔵文書

一 植村政勝大和国採薬記写

享保十四年

(表紙)



伊賀伊勢紀伊大和山城河内六ヶ国御用

享保十四己酉ノ年三月十八日発足

(上段) 和州に

○五木八草湯ニ入ル

○百草真物之事

上ヶ三枝

○ウニ○金剛山麿取無名草 并ニ

○麿香付共○刀

○朱土エズ郡○肉桂

○帳面(薬苑) 写

○砂一袋金剛山砂也

(下段)

●四郎左衛門薬物紅丸

●谷渡之カンメイ之事・ヨメナ之事同断

砂糖作り根櫛柿ヲキサミ黄柏ヲ煎

其汁ニ而合者也与同如ニ致度々カキ廻ス事

○貞雄方気違之方○薬本之事

石龍肉マウコン・モウリヨ

石菖○三枝二○同一二斤調半○杵手共

川上中奥平介、和田村半七、高原村四郎左衛門、北山西

野村勘左衛門、川合村庄左衛門

○十津川武蔵村下村伊右衛門・葉成瀬宿内原村内伝介○

十二村郷之内今西村枝大股之宿つたや伝四郎、三名郷山

西村宿庄や弥太郎

右之者共江下品三枝遣シ置

一いせ津々荷物人足廿六人七指三人懸リ三釣

四人懸り三釣

老人持 一荷

明キ

乗駕籠式人

挟箱式人如斯

三月十八日曇
一江戸出立、品川を東海道

(中略)

長瀬村同領也○滝谷村、是を宇田郡織田伊賀守知行所、

砥取村同人領也

○室生村、入組御料多羅尾次左衛門御代官所

当山真言宗ウイチ山一山室生寺

ベンニチ山ト云、如斯書ハカウボノ
ヒセウ也ト云

御朱印百石有

かうボ大師かいぎ千年余ト云

右之寺女之高野山ト云

甚宜見地代上り坂十丁計

山六十丁ニ四十丁計之広サ也ト云

大杉木生茂也

一室生村泊、此道八里八丁 宿寺領名主源十郎

御料庄や勘兵衛

此所御料寺領高式百十八石

人家七十軒計大下品之村也

伊州境ニ而出ル役人

藤堂大庄や谷六右衛門

今井役所和州一國不残
御用懸り請込

御領御代官幸田善大夫手代藤井勝右衛門

宇田郡多羅尾次左衛門手代入野武右衛門

立田辺御代官角倉与市手代川上源兵衛

今井役所之幸田方ノ見習下市島山栄長・井上孫

左衛門・岡や喜右衛門

鈴木右衛門方ノ見習宇田松山町蔦屋森野藤介

幸田支配

天ノ川中谷村藤左衛門、戸津川下村瀬左衛門代り幸田
支配之内天ノ川島中藤
左衛門出ル

(四月)
四日晴天、初テ見分ニ懸リ申候

一同所所々室生寺山見分、龍王山上品三枝少シ出ル、夫

大師之山左右見分、此辺々モ上品人参出ル

五日曇、八ッ時少夕立ライ致ス

一同村泊り

宿同人

一室生村々○下田口村多羅尾治左衛門御代官○上田口村

同御料段々

山粕村○小長尾村○今井村○長野村○葛村

大郎路村○伊賀見村迄四里ト云道八里程ニ覚、山坂川

多シ難所也

一伊賀見村泊り、此道四里大難所也、宿庄屋助左衛門

多羅尾治左衛門御代官所

高四百石余、人家百廿軒余

大下品之村也、伊勢伊賀境也

六日晴天

一同村々八幡山見分、大谷ト云所ニ而上品人参出、夫々

落合江廻り、下り山筋ニ而少々上品人参出ル、夫々牛

馬余ル所、荷附場ト相見ル所之辺ニ前後左右共ニ真升

麻甚多シ

一同村泊り、此道大難所五六里計

宿同人

七日半晴

一伊賀美村々黒尊山見分、所々ニ而人参出ル、黒尊峠○

入野、此所ニ上品人参出ル

地藏尾同地藏ノ尾、此所ニ而上人参出ル○二ッ地藏之

下同夕橋、此所ニ而人参出ルニ、奥丸瀬、夫々宿へ帰

ル

一同村泊り、此道四里計難所多シ、宿庄屋同人

八日晴天

一伊賀見村々太郎路村、是ヶ坂峠迄三十丁余

亀ヶ峠右之方ニ廻り、式丁計之古水有

西南和州宇陀郡多羅尾治左衛門御代官所

三ヶ国之

国境東勢州一志郡藤堂大学頭領内

北伊州名張郡同領也、則伊勢津領太郎生村

又和州領也、是ヶ下り坂也、神末村迄二里半、此所々

山見分、ぬくみ谷、此所上品人参少シ出ル○信濃ヶ半

ノ谷、上人参少出ル、夫々跡江式里半帰ル

一神末村泊、此道五里程難所也、宿庄屋彦惣

多羅尾治左衛門御代官、長谷海道往来也

○松坂状四月九日ニ喜兵衛方迄遣ス、たい四ッ寺領

庄や室生村源十郎ニ頼申候

○駄上箱二ッ室生村ニ而申付、幸田善太夫代藤井勝

右衛門又伊賀屋ニ而卷ッ申付、多羅尾代入野武右

衛門ニ二荷申付、庄やニ弁当箱頼、助左衛門ニ

九日晴天

一 神末村方〇ヒシキ谷見分、上品人參出ル、下品多シ、

并カタクリ多シ・子ズミユリト云置、ケヤキ谷下品三

枝多シ・黄柏・カタクリ同断、又ヒシキ谷ト云所ニ下

品三枝多シ〇カタクリ有、夫方

東ノ方伊勢一志郡津領

三ヶ谷三国境南紀州

西北和州宇陀郡多羅尾治左衛門御代官所

此所方登リ尾通リ下ル、此辺真防風・升麻多シ、外ニ

六郎谷〇鳥ヶ谷〇二ノ谷ニ下品三枝多シ、かうすま

〇一ノ谷〇アマケ谷〇水無シ谷、こざ之谷〇藤五郎谷

〇寺谷

一 神末村泊

宿同人

十日晴天
一同所逗留

宿同人

人參三拾九根差上候ニ付拵ル

内七根極上・貳根上々・三拾根上

外カタクリ一箱八十五根上ル

十一日卯刻出ス

十一日晴天、八ツ時方曇少雨

一 神末村方〇菅野村迄半里〇土屋原村迄壹里、是方此間

山川多シ、土屋原村之内山迄壹里半、請取山見分、夫

方山越、南ノ方伊勢高見山也、桃股村迄壹里半、道筋

山々防風有リ

一 桃股村泊リ、此道四里半六里程也

宿百姓依四郎
庄や藤兵衛

十二日夜中雨、六ツ半雨ふり、五ツ時方天気
一同村方〇徳間ヶ滝見分、麓迄貳里、道筋ニ玄參・真防

風有、山川多シ、徳間ヶ滝ト云所二三丁之内大難所

也、右山入口ニ黄蓮・下品三枝多シ〇夫方せつしやう

ヶ滝、此谷ニモ下品人參多シ、右山ニ谷見分仕廻、夫

方半里跡へ帰リ、小鳥ヶ滝山見分、右山ニモ下品三枝

多シ、此所満せう也、天句くらト云所山ノ岑有、折節

つれ参候者有之由申候、此山相仕舞、右道筋帰ル、此

道上下共ニ八里余也

一同桃股村泊リ

宿同人

一 せ津領木村長右衛門方々之返事六ツ半ニ来ル

十三日晴天
一同村方指杉峠迄廿丁余坂也

此所郡境、東北宇陀郡多羅尾治左衛門御代官所、西

南吉野郡幸田善大夫御代官所

右之所ニ義経ノ御指候ト申伝ル杉三かい計七八間成杉

ノ木有、同駒つなき石〇杖石ト云石有、此所ニ而文治

元年極月廿九日〇正月三ヶ日被成、明二年四日ニ此所

ヲ義経出立ス云、其時義経古歌

義経のかたみのため乃

さし杉をとぎわの

色にまよいこそすれ

中本社蟻通大明神、四間四面南向

左住吉天神・熊野三社・大黒神、右一所四間ニ式間

右天照皇大神宮・春日八幡、右一所五間ニ式間

歌所上ニ張付置

三尾村〇狭戸村〇大豆尾村、此節山坂大難所坂多シ

一 麦谷村泊り、此道四里半甚遠シ
七里斗ニ覚ユ

宿百姓又三郎
庄屋金平

右村高四拾六石九升四合

人家三拾七軒大下品村也

(十四カ)
十五日晴天

一同村小川数々大難所坂多シ、ヒソ垣谷之内足山口〇見

分、是〇上品人參多シ〇カラウト峠此辺別而極上人參

有、夫〇石ヶ平谷不殘見分、此山〇極上人參多クア

リ、大難所也

木津組滝村〇和州いせ境高見山見分、かうづまい・下

づまい見分スル、大難所高見山へ登り、薬草一切ナ

シ、夫〇平野村へ下り、上下共大難所

一 平野村泊り、此道五里余程

宿百姓市右衛門
庄屋清右衛門

此所先年ハ高三百石余、人家八拾軒有ト云、今ハ高

百六十石程、人家廿七八軒有ト云、其分ヶ相尋候処

ニ、高見山〇之下シ風強ク、作生立兼、其故度々之

水そんニ而如斯成ト云、大下品之村也、此辺村々何

れも同断下品也

(十五カ)
十四日晴天、七ツ半時〇少雨

一 平野村〇木津村紀州往来也、夫〇坂有、此先ハ鷲家

宿也、坂有此所〇左之方へ入、無名草有、讚州小豆嶋

〇出ル草ニ似ル

伊豆尾村、此辺何れもからかさを致所也

萩原村〇木津川村〇小村、此所紀ノ川数々出合之上也

右小村ト云所ニ越通(蟻カ)大明神宮有、和泉国〇文治元年巳

ノ八月廿九日鎮座ト云、当享保十四酉ノ年迄ニ六百五

年ニ成ト云

宮三社有

右山道筋江出同道帰ル、一手分リ、口クチタイカウノ堂
方奥たいかう之堂、此辺上品人参有、夫方東山之尾大
川迄下リ、大川筋不殘見分、川通り右道へ帰ル、此道
山坂道筋大難所、五拾丁程ト云共六里計有、右山之内
所々ニ而上品人参一日ニ三拾式根見出シ

一同村泊リ

宿同人

十六日四ツ時少々雨ライ致ス、夫方晴天

一同村方右之山々、悪山口方見分、天句岩、夫方野近

迄、夫方山横越ニ致、石ヶ平谷左ノ川端筋見分、此辺

ニ上品人参多ク有、夫方跡へ帰ル、手分ヶ致、一口ハ

悪山口方ヒソ垣谷○滝ノぬか迄、右谷ハ西ノ方也

此筋上品三枝・人参多ク出ル夫方右道筋帰ル、何れも

山越大難所、両方之道共上下八九里余ニ向道也

一同麦谷村泊、此道本道三里程大難所、八九里余ニ覚ゆ

右之見分之日上品人参三四拾根出ル

十七日晴天

一麦谷村方大豆生村迄拾八丁○狭戸村迄拾町程、三尾村

迄式里余麦谷村方○夫方足ノ郷越ト云坂登リ、巷里大

難所○取木ヶ尾○笹ヶ休場○浮橋、ホウクワン千人切

之塚○ホウグワンノ御所ヶ谷、組境、木津組庄屋五平、

飯貝組与市出ル、武木村内之山通ル○碓村之山ニ通ル

一碓村泊リ、此道四里程難所也

宿庄や善右衛門
百姓善市郎

幸田善太夫御代官所

此村高七十巷石式斗六升九合

人家三拾五軒、人式百式拾人

御年貢ニ七石入ト云、大下品之村方ニ而御座候

十八日晴天

一碓村方同村之山見分○古谷之内見分、右山上人参出

ル、小谷之内ニモ上品人参出ル、右之筋山々方上品三

十根出ル、小滝之上杯ニ多ク有

一同村泊リ、此道式里半余

右之村之山見分仕舞、昼頃方帰リ、献上式釣仕立、

十八日ニ上ル

八拾五根内大極上三根
極上四拾根
上六拾八根

町惣年寄権之助
丞衛門

吉野山(地)

字頭代知足院使

一碓村方同村之内山式ヶ所見分、夫方山越右道筋江出

ル、大難所、夫方此間吉野川上渡ル、小川共多シ

一下多古村泊、此道式里程

宿百姓高右衛門
庄屋源介

此所高五拾七石式斗六升、人家三拾六軒

人数百七拾式人

大下品之村也

廿日晴天

一下多古村を川渡り難所坂上り、夫を段々行テ熊谷脇大

滝下ノ休場辺ニ左右を上品人参多出ル、并鬼臼〇細辛

有、大滝有、水落ル所四五拾間程ニ相見ル上ニ式拾間

計之二重滝有也、川平休場此辺を上品人参出ル、此所

迄村を式里半余大難所、夫を帰ル

一同村泊り、此道六七里余ニ覚ゆ 宿同人

右之日ニ上品人参七拾五根見出シ候

廿一日曇、少々宛折節ふり

宿同人

右献上仕立候ニ付

二釣ニ九拾五根、内極上廿五根
上七拾根

内廿根碓村を出ル分

廿二日晴天

一下多古村を跡へ帰り、吉野川渡り、白川渡村、夫を

段々登り坂難所多シ〇中奥村風呂ノ谷ト云所之藪ニケ

所を上品人参二三拾根出ル、右之村大下品之村也

高四拾八石八斗九升、人家拾四軒〇奥瀬戸迄人家有道

大難所也、二中奥之内瀬ノ谷ト云所、碓村山境ニ赤キ土

有、是ヲ所ノ俗ニエツチト云、三夫を口瀬戸〇中瀬戸

中奥村之枝也

一奥瀬戸泊り、此道式里半ト云、五里余ニ当ル道也

宿百姓利右衛門
庄や平助

此所高廿石六斗、人家拾五軒、中奥村之持

山木屋同前之所也

廿三日雨天

一同村を芝尾山見分、山入口迄式里余大難所坂かけ有、

右山ニ少々上人参有〇夫を川下り左右見分、此筋折節

所々ニ上人参有〇夫を御信ト云所江出上り坂、此筋道

所々ニ手分ケニ而行筋、蛭ヒルト云虫并ニ〇タニト云虫多

ク有、身ニ取付難儀成ル事

ナベケ谷入口迄壹里程、此道筋ニモ上人参少々有

六七拾間程之大滝有、細引ニ而其脇ヲ上下行

一同村泊り、此道六里余 宿同人

此辺ニ穴熊多シト云冬向ハ

芝尾川下り之筋を上人参四拾根程出ル、ナベケ谷

筋をハ拾根計リ出ル

廿四日晴天
一 中奥村内奥瀬戸を跡へ帰り○中瀬戸、此所竹之尾ト云

所之竹藪ニ上人参有、多出ル、夫を粉尾ソッキ○又夫を小川
数々渡ル○吉野川上之端ヲ通り

一 和田村泊リ、此道式里

宿百姓字兵衛
庄や十兵衛

高九拾老石三斗式升九合

人家三拾式軒、人数式百式拾人

此所川上山中落合親村ニ而諸事売物有、山中ニ而ハ

上品之村也

廿五日晴天(通)
一同村を釈加ケ岩屋石薬見分○菊ケ岩屋○聖殿岩屋、夫

を吉野川上へ○不動ケ岩屋、此処奥行式丁余、大難所

多シ、老丁半程奥ニ大滝有、人流ル、程水通り、此少

上ニ天井ト云所ニ不動之刻有、此所ニ真ノ鐘乳石有

此外ニ聖善ケ岩屋ト云岩屋有、右岩屋聖護院三宝院行

所也

此所を跡へ帰ル、右之方ニ屏風岩、則是ライモセ山共

云、右見分致仕舞候へ而、献上人参百廿五根二釣仕

立、廿六日ニ出ス

老番ニ勝根拾式根
極上六根

式番ニ上六拾ニ合廿四根
上百根

宿同人

一同村泊リ
廿六日晴天
一 和田村を吉野川上之端之がけを通ル、大難所多シ、道

筋ニ黄蓮多シ、横山此所を上人参出ル○スヅル口同人

参有○ケノ木谷をモ同人参出ル、甚右衛門竹藪を同人

参出ル○小森谷○樋ノ口

一 入波村泊リ、此道式里半大石道也

宿百姓甚右衛門
庄屋七兵衛

此所ニ三拾ヶ以前を温泉出ルト云

右湯味塩はいく少寸シ、川端を出ル、なまぬるく

してかなげ有之鉢ニ見ル、手ぬくい杯赤ク染ル、

先聞様之次第、第一子不持々者子持と云、ヒエ并

センキ杯ニ能ト云、甚下品之湯也

人家三十三軒下品之村也

珍宝云、此辺飯貝組之内、中奥村庄屋平介・同高原村

庄屋四郎左衛門、其外百姓共モ申候、タタラト云○ケ

ダモノ有、其形ハ見不申候へ共足跡ハ折節有之、当春

方ニモ足跡見申候由ト申事ニ候、其跡見ルニ、足形老

尺二三寸廻リニしてからかさ之ろくろ之様成物ニ而、

指ハ丸ク一寸程之形四ツ有、俗申候ハ耆本足ト云、一足之間八尺有ト云

同宝云、四月廿七日ニ見分致候、和州・紀州・勢州境之大台山ト云々、昔々馬有之ト申伝ル所ニ、拾八八年(マ、)以前辰ノ年四月ニ其馬之形見申候者、上多古村清右衛門と申者具ニ咄シ申候、黒キ馬ニ而目大サ式寸計も有之由、ふり髪地ニ付程長ク、四五足物之猿程ニ見ルト云、右馬ニ逢候後私宅へ帰り、三日之内前後不知相煩

候与申事

廿七日晴天

一入波村ヲ大台山麓菊ヲ宿ト云山木屋迄式里半大難所、

吉野川端并ニ山ノガケ丸太杯ヲ渡シ、岩又ハ藤葛杯ニ取付通ル道也、且又腰切之川廿七度渡、少之雨天ニ而も此道ハ不行候事、二度通ル儀いやかなく

一大台山麓菊ケ岩木屋泊リ

此辺ニ上人参少シ有、下品共ニ相見不申候

廿八日晴天

一菊ケ宿木屋ヲ大台川筋見分、此道常々人通ル事不成ラ、岩木之根又ハ藤かすら杯ニ取行道計、若ガケ落候ハ、命無之候所多シ、川端ニ山々温泉出所有、右道

筋所々ニ上人参少シ宛有、下品之山石岩計也

釜木口カマ〇蜘蛛舞〇ゲジカ滝、是ハ先行事成不申候、此所耆丈計落三ヶ国境、紀伊・伊勢・大和山境大台山ヲ落ル水也、此辺別而大難所、是ハ跡へ帰ル、右滝迄川筋登リ三里程所々滝有、其左右ハ大難所ガケ也、帰ル道川之中月水ト云所ニ、白石ト云塩ニ似ル指ニ而もくだけ候じやスル石多シ、入波村伝右衛門与申者能存候、右道二度通ル事いやかなく

一菊ケ宿木屋宿リ、此道上下五六里覚ゆ

一同木屋ヲ入波村江出ル、同道筋〇炭木屋之平ヲ上品人参二三根出ル、夫ヲ行ハ右之方ニ北股谷ト云、吉野川落合之所より上之方宜山ニ相見申候、此山江ハ雨天ニ付行不申候

一入波村泊リ、此道式里半と云也遠シ 宿百姓甚右衛門 庄屋七兵衛

此所ニ而献上人参二鈞仕立、晦日午ノ刻ニ出ス積リ、百四拾五根上ル

内勝根拾七根、上百廿八根

晦日雨天、ハッ過テ天氣

一入波村ヲ吉野川耆里計下リ、左ノ方川ニ付伯母谷村江

通ル、右道筋荷物等一切不通、丸太杯ヲ渡シ通ル所多シ、小川多ク井ニ蛭と云虫有テ足ニ取付○村取懸リ大坂也

一 伯母谷村泊リ、此道巷里半

宿百姓太兵衛庄屋七右衛門

此所高廿七石八斗、人家拾三軒

此辺山中ニ而家作宜相見ル村也

五月朔日晴天

一同村ヲ○悪谷見分、此道難所、蛭ト云虫多ク取付、夫

ヲ竹之葉無シ谷へ行○屏風岩之下ニ阿波国ヲ上ル無名草有、竹之葉無シ谷段々見分、此辺ヲ上人参少々出ル夫ヲ段々川伝ニ下ル、此筋大難所、藤杯ヲ下ケ、岩井木之枝ニ取付下ル、右之筋共ニ上人参少々宛出ル○脇宿谷江落ル、本谷川江出ル、夫ヲ伯母谷川下リ、夫ヲ○ヲリト云所へ出、此所熊野へ之山道也

一同伯母谷村泊リ、此道大難四里余 宿同人

四月廿日出石見守殿状五月朔日之七ツ時伯

母谷村ニ而相届キ申候、幸田善太夫留之戻

手代

岩田義右衛門・加藤三喜右衛門ト状箱

ニ書付来ル

二日晴天

一 伯母谷村ヲ○上谷村迄廿丁計、此所之村内藪ヲ少シ上

人参出ル、夫ヲ川端伝○上多古村、夫ヲ吉野川渡ル

一 和田村泊リ、此道式里計

宿百姓八郎兵衛庄屋十兵衛刀持六兵衛

此所ヲ献上人参二釣、七ツ頃ヲ仕立

但百六拾根、内勝根二根、上百四拾根也

尤此所ヲ仕立三日午ノ刻ニ出候へ共、伯母

谷村ヲ上ル積リニ状ニ書上ル

一 和田村ヲ吉野川端下リ○白川渡村、此辺ヲ吉野川度々

渡ル、井戸村○人知村、此間吉野川渡ル、是ヲ白屋村

へ上ル、坂少シ有

一 白屋村泊リ、此道三里道能場所也 宿庄屋九右衛門

此所高百二石余、人家四拾式軒

右村之内ニクバチノ岩屋ト云岩屋有、苦行者円心坊取

こもり居候与云、其少脇ニとうみやう之岩ト云岩屋

有、此所ニ昔ヲ有来ル小キ木はち老ツ、六七寸計之指

渡シ之かわらけ老ツ有、九ツ子之はしごをかけ上ル、

其道筋さかげと云所辺ニ遠志多シ、右白屋村ヲ岩屋迄

三十丁ト云、大難所多シ、右之岩屋二度見ル事ニハ不及少之岩穴也

川上筋之内、此辺吉野杉名物ニ而山之上迄植置候而も他所村之谷ニ植候杉能生立候事

一 白屋村を吉野かわ渡り○迫村○寺尾村、此所を川向塩谷村、此辺松ノ木多シ、名物之所也

大滝村、此所吉野川之内ニ虹紅ヶ滝ト云所有、聖護院行所也、右滝ト云所川之淵也、此淵へ滝飛ト云テ水ヲアビル者有之、同所ニホウカンノヨロイカケ松アリ

一 西河村、此所を六七丁程行へ、国緒滝又ハ蜻蛉ヶ滝ト云名滝有、高サ廿間余ニ見ル、此所ニ滝飛ト云テ滝坪へ人飛込候者有之

応神天皇之古歌ニ、なかき世のつきも春ハ白糸のつらぬき懸ゝる国の緒の滝

右之所ニ応神天皇屋敷跡有、則其所ニ八幡宮有、馬場跡有、滝之麓ニ弁天堂有、右弁天堂保十四当己酉ノ年迄ニ千四百七拾六年ト云、本寺大雄山仙龍寺也、季細(縁起)ハ延紀ニ見ル、夫々下ニ十五日川ト云川有、右之川国

緒之滝を落ル水也、十五日川と俗ニ申伝ルハ、三四丁程之内ニ上十五日ハ其川原半分ニ水流、下十五日ハ下ノ方ニ流テ半分川原也、夫々少シ行ハ西河村也、則此所を仏ヶ峯ト云大難所之坂有、右峠迄九丁程ト云、同峠を段々登リ、五拾丁行ハ道筋ハ山也、真防風○遠志○白薇(薇)有

一 吉野山奥之院泊リ、字頭代宝塔院安禅寺宿
此道三里余、平地五里程ニ覚由

見廻字頭代知足院寺僧惣代喜蔵院
満堂惣代持明院社僧惣代松之坊
町惣代竹内権之助付福岡条右衛門兩人付

○吉野惣名、国軸山・金峯山・秋津野トモ云

御朱印千拾三石余、安禅奥院本堂六間四面南面

○本尊蔵王権現役行者之作、長丈六尺、石楠木之像

右本堂ハ慶長九年豊臣秀頼公建立、奉行建部内匠頭光重、都賀尼之像行者作、同役行者之像自作

○多宝塔二重、但シ二間半四面、建立右同断、本尊金剛界大日大黒殿弘法之作 △四方正面堂三間四面、建立

右同断、本尊正観音不動地藏愛染明王

○此辺之名所

青根嶽

よしの川水増はさしもまさりしを青根を越や

花ノ白浪

佐保姫の遊ふ所かみよしの青根嶽の

苔のむしろハ

苔清水西行法師庵跡有

とくくと落る岩満の苔清水汲ほす程も

なきすまいかな

柴の戸は又とふ人もなかりけり山めぐりする

時雨ならては

御船山・朝乃原、両所共古歌あり

御垣か原、是ハ所分明ならず

二の鳥居・判官跡破之塔、但古へ三重塔

今ハ一重成ル、建立年数不知

遙か谷・つら岡、忠信合戦之所、中院が谷同断

塔之尾・女意輪寺後醍醐天皇御廟所

右之寺、楠正行一類已下過去帳を遺置候所也

菜摘川・宮滝、判官・弁慶已下落候所

桜木乃宮、右ハあらまし

五日晴天 一安禅寺同アンゼン谷見分、此辺ニ黄精○藜肉・防風

・羌活有、夫々榎尾村之内砥石谷見分、夫々右道ヲ帰

リ、榎尾村、此間ニ八九丁坂有○鳥住村、此所百累山

鳳閣寺ニセウズセウニ廿四歳之時之自作有、今ハリ

ケン大師ト称セ、脇之左春日之作地藏、右同作蔵王権

現也

西谷村内カウラ橋○夫々吉野竹林院庵見分、吉野山一

二之庭也、宝物数々有、急ニ付其品不レ印サ

野近上町 宿青木才之丞

一吉野町泊リ、此道四里余、大躰之道也

此所人家八百軒程、甚上品之町也

諸国方大峯山参、専参詣ニ付上品ニ見ル

名所数々多所ニ而候得共、具に見分不致

六日晴天 一同町方下り坂ノ下○六田村○瀬上村○阿知賀村、此辺

方薬園場所見立候、下市村○新住村、此辺方段々薬園

惣町年寄

竹内権之介
福岡条衛門

場見立ル

一下市村泊リ、此道吉野町々ハ弍里也、所々見分道共ニ

三里余

宿馬場本兵衛門
庄屋惣八・伴左衛門

此所高千十九石五斗五升壹合、人家千弍百軒余

七日半晴 一同所逗留、藥草植場吟味候ニ付 宿同人

八日半晴 一下市逗留、藥園場入札ニ付 宿同人

九日半晴 一同所々堀池藥園場所地改ル 宿同人

十日晴天 一下市村々○善城村○四村、此所々段々坂有、是ヲそさ

かト云、広橋村、此所淡竹有○粟飯谷村、此辺黄防風

・同羌活多シ、寺戸村○中戸村○赤滝村、是迄坂多

シ、峠三ツ有

一赤滝村泊、此道四里難所也

宿年寄太介
庄屋又左衛門

此所高百七拾石六斗五升余、人家六拾軒余

山中ニ而上品之村方ニ見ル由、右所十月頃之

様躰ニ寒シ

十一日晴天、四ツ時夕立、雨半時程ふり
一同村々山上天井ヶ嶽見分○大瀬戸○坊主ヶ谷○常由作

御武具蔵○白ざこ○百丁二蔵ヶ茶屋、夫々白ざこ口江

下リ、是迄大難所多シ、右見分場之内々上人參拾六七

根出ル

一赤滝村泊リ、此道三里余

宿同人

一同村々大天井ヶ嶽西ノ平切明道致峠迄出ル巷里半程大

難所也、御ばん石茶屋高原茶也、谷渡之茶屋同村之持

○鍋割坂虻原茶屋同村持、同坂有○今宿茶屋下多古村

之持也

蔵懸坂大小有○かつゑ坂、此所ニ奉參ニ似ル大葉の草

有、右草大葉ノシブ草ト教置、并真升麻有

洞辻ノ茶屋、此辺ニ威靈仙○升麻大分有之、左右不殘

右藥草也

鐘掛ヶ大難所、高サ八九尺之所ヲ岩ニ取付上ル、若落

候ハ、死スル所也、此所始テ大峯江參詣之者共大サン

ゲ場所也、新キワラジヲハキ上ル所也

右之上々東ノ方ニ伊勢見ル、西ノ方淡路国・土佐国見

ル、南ノ方紀州熊野見ル、北ノ方播州・摂州見ル

古歌ニ、鐘掛と問て尋て来て見ればこけつの蔵王を

下にこそ見れ

西ノのそぎ、此所々谷ヲ見下シ、始テ參詣之者ニ帯ニ

繩ヲ付下ヲ見させ候所、大難所サンゲ場也○等覚門ト云所鳥居有、此左右升麻・威靈仙有、シブ草モ有

一 大峯山上竹林院泊リ

宿竹林院

此道大難所三里半余

山上本堂ノ少下吉野町坊々四月八日ニ上リ

九月五日迄六坊江詣ル、五月上旬迄雪有、八月頃水

杯カウリ候と云、誠ニ五月十二日夜泊ルニ江戸寒中之通りニ寒シ、此所山木屋同前ニ而湯杯不自由成事甚難儀也

竹林院・南之坊・桜本坊

六坊

小松院・角ノ坊・穀屋

十三日曇、八ッ時雨天

一竹林院坊々後入道と云行者行所之大難所八丁と云也、

誠ニ行テ見れ者大難所○行者婦リ岩○ゴマイワヤ、天

雀岩スズメ○たいないくり○行者衣掛岩○御馬屋所、さい

の川原○大黒岩○行者追岩○飛石、此所大難岩之上よ

り七八尺程飛下リ○東之ノぞぎ、此所下之谷をのそ

く、是も大行場也

蟻ノとわたり、此所五六尺程有所ヲまたき上ル、下ヲ

見れば老丈有岩くら也、若落候ハ、早束死と見江たり平等石、此所岩がけ、下を見れハ廿丈計有所ヲ見テ、

其端三四尺斗高キ岩ニ取付かけを廻り申事、是も参詣

のものの行場ニ而大難所、若落候ハ、早速死ス事

もとユはらい、右十四ヶ所行場大難所ニ候得共、初テ

山上参詣之者ハ此所ヲ通り不申候てハ右山上ヲ通シ不申候、二度行もの不有と見ゆ、誠ニ二度いやく

本堂南向蔵王権現本地千手○脇立東ノカ○エンノ行者自

作ノザウ木仏也、左西ノ方ニ遠州ガエンノ行者持来ル

ト云伝ル指渡式尺余ニ見ル鐘有、其銘ニ遠江国佐野郡

原田郷長福寺天慶七年六月二日ト見ル、凡享保十四年

迄ニハ七百八十三四年程ト云、右鐘ヲ遠州之者共度々

群来ル事多シと云

本堂赤銅瓦ニ而表行十一間、裏行十一間老尺七寸、右

京間也、前ニ妙覚門と云鳥居有、夫々小笹之宿役行者

堂、同自作之木像也、脇立左不動、右者大金刚童子、

右ノ堂南面五間四方、理源大師自作木像、右堂南面三

間四方前ニ天下大平之護摩燒所、三間半四方ト云土座

也、尤当山先達不殘五月八日・七月十八日或ハ八月六

日、都合三度此所ニ而護摩焼ト云リ

本堂ヲ此所辺迄○威靈仙○升麻○鬼臼○羌活并ニ十二

一重ノ紅葉多シ○小笹脇宿之辺○藜蘆○鬼臼多シ、夫

ヲテツカウ童子○普現ト云所ニ○黄精○升麻○威靈仙

有

童子之宿リ○薩摩ゴケ○此所ニ而右国之者死候故如此

云リ

七ツ池、此所洞川北山領境也、是ヲ下坂大難所二里余

一西野村之内ニガ瀬泊リ、此道山上堂ヲ五里ト云共八里

計リニ勝れり、大難所甚多シ

此所枝村人家十四軒、高五拾六石八斗八升壹合

宿百姓伝六
庄屋伝右衛門

西野村惣家員四十一軒、ニケ瀬共大下品之村

方也

此所ヲ庄三郎と申者、八郎兵衛と申者、万事

能存候

釋曲・鞍木ニツ出ル

十四日晴天
一同所ヲ○七迫坂○老軒家之手前栃山見分、夫ヲ山葵谷

見分○中ノ股見分、此所川筋并谷奥迄所々ヲ上品人参

多出ル、甚宜山也、北五味子杯モ沢山有

水フト谷、此入口ニ茴香ニ似ル小草之無名草有、野苗

香ト教置、畠山栄長・井上孫左衛門兩人江教置候

水フト谷半分頃ヲ及暮ニ歸リ申候

此辺ニも少々上人参有

右道川筋坂同断

一ニケ瀬泊、此道上下四里余大難所 (同脱) 宿人

アヤウキ所数々第一、山ヲ石コケ落ケガスル

事多シ、同老人足ヲ折リ候者有之、半死ニ成

リ二度行間敷所々多シ

十五日晴天、八ツ時ヲ雨天
一同所ヲ水フト谷見分

夫ヲ中ノ股奥迄見分、此辺ヲ上品人参多出ル、七八拾

根計リ、此所筋難所数々蛭沢山有テ手足ニ取付、下根

ノ川向下リ見分、此筋ヲモ上人参出ル

一同所泊リ、此道四里程 宿同人

○江戸五日出状十五日朝来ル

いせ状十日出、同日現大夫来ル

十六日曇、九ツ時少々雨天
一尼ヶ瀬前名坂川端江下リ

○天下タギ郷西迄此道筋上人參多ク出ル、西野村
八郎兵衛竹藪モ上品人參出ル、右道殊の外蛭有之、
手足ニ取付

一西野村泊、此道老里半程

宿百姓松太郎
庄や伝左衛門

此所高五拾六石八斗升、人家廿六軒

大下品之村、大山か也

十七日晴天
一西野村大久保坂峠迄廿丁計難所、右坂之内左ニ伯母
ヶ峯江之道有

わらひ打休場、是夕下リ坂難所○ミコチ谷、是夕川原
ヲ下リ

一小瀬村泊リ、此道式里半と云、甚遠シ 宿百姓太左衛門
庄屋六郎兵衛

此所高四拾六石、内廿石余引高有

本高廿石余、人家拾七軒、下品之村方也、家

之前流ル所

此所江九ツ時参着、献上仕立十八日ニ上ル、人參式百
三拾老根三釣ニ仕立、一番内勝根 廿一根・上五拾老根、

二番ニ上七十式根、三番ニ上八十五根、右之通上ル

○献上之節、桑名状一品藤井方江頼、伝左衛門・孫右

衛門方へ遣ス

十八日四ツ時雨天
一同村下川下栃本村左ノ方風折谷江入見分○股ツルキ
峯横越在所江下リ、手分之筋ハ○乙無シ・能谷・歩谷
右之山々悪キ山故上品拾二三根出ル

一同所泊リ、此道式里余難所多シ、半平谷聞申事

宿同人

十九日晴天、八ツ時雨天
一小瀬村下川下リ○舁谷○川合村、是迄拾四五丁川数度

渡ル

向イ谷○栃谷○上はし○アンナウ屋敷、右之所上人
参出ル、川数々渡ル也、尤右山々蛭有テ手足又ハ股杯
江取付上ル

榎谷入口西川上リ口、枝川ヲ登リ、右之所迄行テ跡江
帰ル

一川合村泊リ、此道三里程、此内下七八十根上品人參見

出ス

宿前之見習
庄左衛門
庄屋久右衛門
年寄吉衛門

此所高七拾三石七升壹合 永代荒

七石四斗八升七合

○拾九石貳斗三升四合水損引

有高四拾六石三斗五升毛付

人家四拾軒村方宜相見ル

同日手分け山、小瀬村山之内

大股入口迄小瀬村を峯里半程○小平谷・二谷○瀬場戸

谷・三谷・河原数谷○大芋畑谷○小芋畑谷○二股谷右左

ハ大台山へ行道有、
ハ和田村へ行道也 原谷○坂堂谷○王子近谷○尾和田谷○

栃尾谷、是を川合村迄帰ル

右所をも上品三枝少シ出ル

廿日雨天
一同所を梅谷道筋迄行、大雨ニ付帰ル

一同川合泊リ

廿一日晴天七ツ時を雨天

一川合村を○梅谷○大さこ所々、此辺を上人参四五十根

出ル、是を跡へ帰ル川合村

手分け之筋、西山人家三軒有所を行テ○手水谷・白谷

○はこぎを谷○梅谷ノ瀬之山迄、此辺をモ上品人参三

四十根出ル、夫を右道筋帰ル、西山ト云所ニ家来共見

習之者共置、拙者ハ川合江帰ル、尤西山ニ水無之候所

故人足共ニ本村下シ、其所ニ殊外蛭ト云虫有、手足ニ

取付又ハ股脇ノ下迄モ上リ取付事多シ

一川合村泊リ、此道難所三里余

廿二日雨天
一川合村を新宮川上下リ、川数々渡ル

古瀬谷上下見分、黒瀬横手○白川村○宮ノ上○岩井谷

中さこ迄、内ヶ谷、右場所ニ見分致、上品人参四五拾

根出ル

下品之根、西野村勘左衛門・北山郷川合村庄左衛門・

川上郷高原村四郎左衛門・中奥村幸介、右者ニ三枝下

根遣シ置ク

一白川村泊リ、此道式里程、川数々渡ル、雨天ニハ甚悪

シク、風水損之残高五拾三石三斗八升六合、人家七拾

軒村宜見ル

廿三日雨天、七ツ時を暮六ツ時迄大雷ナリ

白川村を川下リ、脇切渡ル、川前鬼迄数不知渡ル、万

水ニハ一切通無之所也、白川之内小代家十三軒有、此

所迄一里半、是を右之方坂へ上リ、夫を下リテ前鬼川

上江登リ、此川数々脇切渡ル、小水多ク今も不行通

百姓七兵衛
宿庄や小兵衛
年寄金兵衛

(灣)

前鬼坂大難所耆里余、是まで川渡リ式里半、登リ坂耆里、坂横手耆里、何も難所也、前鬼坂右之方ニ三重之滝、大峯行所之内也、中ノ滝七十間程ニ見ル、残二重ハ不見

一 前鬼泊リ、此道大難所四里半

宿山伏堀内將監

此所筒鬼之子孫と云テ、且今ニ前鬼五鬼ト云テ山伏計五人有、尤聖護院入山之節、山切明之さうまと言テ五人有

右之者共ニ拾人外ニ人家多クハ致させ不申候由申候、此一見致泊罷在候処、中々人^(住)濟所ニ而ハ無之躰ニ相見、山ノ窪溜リニ而、何れ江出候へ而も四五里宛山坂川難所出不申候てハ給物諸色調不申所ニ御座候、誠ニ鬼と申事違相見不申候所也、寒氣事五月廿四日頃ニ江戸杯之十月頃之様ニ御座候

大躰之言ニ大參前鬼山五鬼と言、其山伏之名、將監○

不動○繼○助○中邑、右五人之者共家作甚宜相見

廿四日雨天、七ツ々天氣、又夜雨ふる
尤廿三日夜中大雷致大雨也、山川水出通用留ル

一 同所逗留

廿五日晴、七ツ時々雨ふり

一 前鬼を釈迦嶽見分

釈迦ヶ嶽つれ候者

北山上組西野村庄三郎、同村勘左衛門

定堀同村八郎兵衛・栄長

白川村文右衛門、同村庄や善衛門

十四五丁程行テ聖護院行所、コレカラトウシ○クリカラ不動・セイタカ不動

大日ヶ嶽同所行所、此登リ大難所、上ニ雨ブタト云石有、夫々行テ甲石○セウデン石同祖有、夫々宿入口ニ門と名ク鳥居有

聖護院峯入之節、旅宿山木屋と云、宿五軒有

行者之光勝水と云石々水出ル所有

セウデン石○弁天石、其辺左右共ニ鬼曰○羌活○威靈

仙・玄參有、此所迄前鬼人家々五拾丁と云、宿々釈ヶ

嶽山上迄拾八丁と云、山伏道也

山上ニ釈迦堂式軒有、左ノ方釈迦堂六角ニ立タル、廻

リヲ見ルニ耆丈八尺六寸有、右之方フゲンボサツ堂、

五尺二寸四方、何れも北東ノ間巳午ノ方面也

此山上方辰巳ノ方見ル、海山紀州熊野地也、右山上方

凡和州不残、遠国共ニ見ルと云共雲懸リ慥成事不見江

日本二ツノ高サ山也ト云タトヘニ、一富士、二积迦、

三信州浅麻、^(岡)四羽州鳥海山云事有

一前鬼泊リ、此道六拾八丁ト云、一里三十丁也、山伏道

故甚遠シ、登リ下リ共ニ大難所ハ多シ 宿同人

一前鬼ヲ横手巻里〇下リ巻里大難所道也、立下リ坂下リ

テ由谷、是ヲ腰切之上ニ届ク、川数々渡ル、右大雨故

俄ニ水出ル故、由谷軒家、是ヲ巻里川下リ

前鬼之内佐田ノ川一軒家、此所ヲ北山本川江落合

池ノ原村之内左ウツボ、此所大川之端岩ニ足懸リヲ致

通ル大難所也、同村内おとし三軒家有

佐田ノ坂八丁登ル、夫ヲ池ノ原村入口舟渡シ有

一池の原村泊、此道四里半大難所多シ、五六里余ニ覚ル

也

百姓九郎兵衛
宿庄や三右衛門
年寄久右衛門

此所高百六拾石三斗巻升式合、人家百拾八軒

北山郷親村内前之所故、甚上品之村方也

御材木改御陣屋有、御代官幸田善太夫預リ也

廿七日八ツ時小雨
一同村ヲ新宮川上ヲ大瀬村迄川舟ニ而巻里余登リ、大瀬

村之内里山氏神山共ニ四ヶ所見分致候処ニ、上人参八

九根出ル、夫ヲ又下リ舟ニ而手分ケ筋江行、本股之内

池川奥大わんきり、小股之内雨泊リ滝、峯ニ八九丁廻

程之池有之

池尻〇カラウトノ滝〇打渡リ〇谷合、右場所ヲモ上品

人参拾三四根出ル、夫ヲ帰ル

一 同池ノ原村泊リ、此道前後三里余 宿同人

廿八日晴天
一同村ヲ池峯村之内見分、是ヲ八九丁大坂登リ〇けさか

谷・長谷〇天野谷〇小面谷〇中根山、此五ヶ所ヲハ下

品人参計多ク出ル

^(所脱)右場相廻リ帰リ候得而、明廿九日ニ上ル、薬草三釣仕

立三百六十五根

献上人参三百六拾五根、内三拾根ハ勝レ根也

都合是迄メ千百九十一根上ル、五月廿九日迄

一 同村泊リ、此道式里余難所多シ 宿同人

廿九日
一池ノ原村ヲ舟渡、八丁有之難所坂登リ〇池峯村、此氏

神則池峯明神と云、前ニ廻リ八丁有と云古水有

此間見分所多シ、下品三枝計

一 寺垣内村泊リ、此道耆里半
宿 関兵衛
庄屋七兵衛
年寄源八
六月朔日晴天
一同所逗留、病氣ニ付
宿同人

一日ニ高島江状遣ス

二日晴天

一 寺垣内村々○浦向村、是々耆里半之坂也、不動峠迄耆里半、此所国境、西北和州吉野郡御料、東南紀州室郡(牟婁)水野大炊頭領、西茂左衛門・東勘兵衛兩人介役、山本与市兵衛支配出ル

国境々七色村一里半○竹原村迄八丁○大沼村迄耆里、

此所船渡有

一 大沼村泊、此道四里余大難所多シ

宿 百姓字右衛門
庄屋弥八

高式百五拾石、人家四拾軒、大下之村方也(品脱)

三日晴天

一同村々舟渡○平谷村、是々紀州本地也、此所迄廿丁余

長尾村○赤木村迄拾丁余、此所ニ平家之落人打取候藤

堂佐渡守出古城跡有、是々八九丁之坂有

大栗須村迄耆里○板屋村迄拾丁余、是迄本家之領也○

小栗須村迄八九丁、是々新宮領

小川口村迄拾八九丁、是々耆里余下リ船ニ乗、和州

十津川竹筒村迄

此村入口川向西紀州・和州之國境山有、殊外入組難分チ様ニ見ル

一 竹筒村泊、此道陸下リ舟共五里程 宿庄屋善之右衛門

此所々新宮迄七里下リ、舟上下日帰ニ成ト云、此所々十津川五十本鍵之村方也、十津川郷上下五拾九ヶ村高千石之場被下置ル由、竹筒村々右之組合之村千石之内此村ニ九石拝領仕ル由申候、人家四拾五軒

下組 惣世話
桑畑村

四日晴天

一 竹筒村々則大難所之坂登リ上ニ平有、夫々行ハ左ノ方

ニ式丁計紀州入込有、玉井川村右ニ見ル○カウリカキ

山○西谷之内々藜藿沢山ニ有、玉置山本社迄式里半大

難所也、前ニ鳥居有

本池之内山東西耆里余、
南北六里程 本社三所大権現、左千手かんお

ん、中セウクン地藏、右ヒシヤモン

此山所々見分致、下品三枝計

別当 一多門院方泊リ、此道四里程

家社表行五間半、裏行式間半、南面也

前ノ左ニ神樂堂有、式間ニ三間也

五日晴天

一玉置山々下葛川村迄三里程下リ

宿寺 社家四人有

道筋見分、社地之内シニホウケント云丸キ石有、右山之宝物也、夫々廿六七町程行ハ、花折ト云所ニ大塔之宮神主村上彦四郎廟所有

下葛川之内道筋四ヶ所村迄ニ見分致、下品三枝計并小五味子有、水谷○熊谷川筋○葛堀谷、何も下品三枝計多シ

只今五十本内四十五本十津川ニ有、五本紀州有、五本本鎌之者也

一下葛川村泊、此道三里程下坂也

宿庄屋儀左衛門

此所高八石、人家三拾貳軒

一同所々○中村、夫々同村内○戸野井向○広野谷、此所々上品人参十四五根出ル

上葛川村○日尾谷○堂野谷○里之向・杉山、式ヶ所見

分、夫々難所坂村境○小川村江下リ、大難所半里余
八日晴天、折々ザフル雨フル
一湯木屋々此辺卷式里之内見分致ス

一同所泊リ

宿小屋

九日大雨天

一湯木屋々大川舟渡○湯之原村迄卷里、大坂有

山井村○池穴村迄式里○山崎村○風屋村迄卷里

一風屋村泊、此道四里余難所多シ 宿庄屋吉平治

此所高三拾六石六斗六升六合七勺

人家五拾軒水吞百性共、大下品之村也

大和国拾五郡石高五拾万四百九拾七石三斗八合六勺八才

村数合せて千五百七拾八ヶ村

外二十津川(郷脱)五拾九ヶ高千石余、御朱印場所

此場東西拾三里程南北拾貳里程有ト云

吉野郡石高四万五千四拾八石六斗三升壹合

村数三百八十五ヶ村、十津川郷ハ外也

大和之内御料多ク、紀州領○郡山領○高取領○中坊

万五郎知行・吉野蔵王権現領、其外ハ不存

十日雨天 宿同人

十一日雨天 宿同人

一同所逗留 宿同人
十二日晴天
一風屋村々川四ツ渡ル、雨天ニハ甚悪所也、大坂数々大

難所計、滝川村迄卷里○内原村迄半里、夫々八丁坂○

二ノ蔵谷見分、此所ニ木地小屋有

申まつこふくりいたらき、此所大難所、葉成瀬迄三里
内原庄や専之丞

一葉成瀬小屋同前之家ニ泊リ

宿伝助

外役人ハ何も木屋ニ泊リ、小キ家四軒有、釈迦嶽之

下、是夕三里有ト云

^{十三日晴天}
一葉成瀬^カ○カリヤス谷○梨谷迄老里半余見分、夫夕帰

ル、道筋見分、右之山々々上人参式拾根余見出ス○手

分け筋、八人山・ナル瀬谷○ハウノ木谷、横越見分、

右之山々々拾根出ル、何も夫夕跡江通ル、時ニカリヤ

谷口ニ而薬草見習畠山栄長・武蔵村万左衛門、其外人

足数々之者共ニ麝香之香ヲ聞出シ、其所相尋候へ共、

相見不申候、尤其節武蔵村之万左衛門申者、釈迦嶽^カ

五里計四方ハ度々加様成香致申候与申候、右者并ニ又

ハ内原村之内葉成瀬之者伝介与申者も、同断ニ度々香

申由不行珍与云、且又万左衛門申候ハ、釈迦嶽^カ中^ノ

内平地之宿迄ハ折々香有之、其外ニ而ハ不覚ト申候、

夫付所々吟味仕候処ニ、前鬼山五鬼之者将監申候ハ、

享保元申ノ年四月八日ニ、釈迦嶽下大日嶽夕老丁計下

道筋殊外麝香之香仕候ニ付、其近辺相尋候へ者、猪之

様成糞老合程木之根合ニ有之候故、則手ニ取一見申候

へ者、真ニ麝香ニ不相替香申ニ付、宿へ持参仕置候所

ニ、香一ヶ年計ハ甚香申由将監と云五鬼之者嘶申候、

直ニ其糞少持参申一見候処ニ、鼠ノ毛杯入テ子コノふ

ん之如斯ニ見申候、右糞取参候者ハ病死候付、其親委

細ニ咄申候

一同所泊

宿同人

^{十四日晴天}
一葉成瀬^カ○申まつかう大坂登リ○クルミ谷筋見分、木

地木屋有、谷川下リ宮ノ上江出○手分^ノ筋栗瀬谷、夫

夕宮之上江出、右式ヶ所夕上人参三拾根程出ル

^{内原村枝}
一栗平泊リ、此道大難所六里余ニ覚由 宿権兵衛

此所人家八軒、木屋同前之所也

幸田善太夫手代藤井勝右衛門、病氣代リ海野藤蔵

出ル

^{十五日晴天、七ツ時夕雨}
一同村^カ○麦付坂大難所也○さいしん坂峠上下ノ組境也

夫夕下リ、此辺真防風有○上之地村内カウツ谷見分

一上之地村泊り、此道三里余 宿庄屋左次衛門

此所高三十九石四斗、人家四十軒

十六日晴天 一同村々○月谷山見分、大谷筋之上品人参三拾根出ル

右之場難所、并ニ蛭蚋坏多シ○谷瀬村へ出

一同村泊り、此道四里程 宿同人

江戸半之粟津状、六月六日出、十六日くれ着キ、手

分之者同日出合申

十七日晴天 一上之地村々○左ノ方宇宮草村見ル○小川入口出合川、

此辺難所多シ

小川村惣名○トガ縦母元○中谷村、此所々川上リニ無名草

之一品有、其形ハコベニ似テハウツキノ様成実ナリ

一迫村泊り、此道三里、小坂数々有 宿本平右衛門庄や権兵衛

此所拾石九斗式升、人家十四軒、大下品之村方也

十八日曇平晴 一同村々川ヲ渡リ、大難所大坂上リ、布引之滝ノ谷筋見

分、上品人参式拾根余出ル、夫々川之上横通り、登リ

下り也○布引之滝六七十間計ニ見ル、其下ニ小滝三ヶ

所有

一同村泊、此道五里計ニ覚由

宿同人

○十津川上組ニ而宜相見ル、湯之谷残シ置候

一迫村々○中谷○小川、夫々右江入、宇宮草村○田長

瀬、此所々川渡近道

長殿村、是迄十津川領上組也、イバメ峠領境、十津川

領・十二村郷境也

十二村郷之内 宇井村川向ニ○清水村○堂平村○閉君村見ル

一辻堂村泊、此道三里下云、五里程ニ覚由

此所高三十卷石九斗五升四合七才 宿百性谷右衛門庄や平四郎

人家十八軒、外ニ水吞百性三軒、中品村方也

此所へ新任新兵衛・和田之平兵衛・小代五郎左衛

門出ル、植溜箱九ツ坂本江廻シかこ箱共ニ、残七

ツ内一ツハ辻堂ニ置、六ツ持参

廿日曇、八ツ時々雨 一辻堂村々川渡、是々大難所、坂式里程、堂平村○飛養

曾村、是々水人家式里之内ニナシ

十津川之内少々見分仕ル、大悪所也

一中津川村泊、此道三里程大難所坂計 宿百性弥助庄や善右衛門

此所高六拾式石三斗卷升

人家十八軒・人数五十人、大下品二度不行共能所也

廿一日曇、九ツ時大雨雷ナル
一中津川村々大坂拾丁計下リ、夫々川渡耆里半登リ、坂

道筋ニ真防風・遠志有

一赤谷山木屋泊リ、此所十二郷廿八ヶ村之持合也

折節大雨天、木屋モリ大難儀仕ル

廿二日雨天
一赤谷木地木屋々上ノ木屋迄川登リ、耆里余見分、難所

多シ、上人参拾根計出ル、手分之筋〇ダケ谷・ナル谷

〇床木屋谷、右之筋々上人参式拾根程出ル

一同赤谷木屋泊リ、此道三里程

余リ給物等無之候ニ付万事不都合故残シ置ク場所、

十悪谷〇ワル谷四ヶ所・ワサビ谷・黒尾谷迄、残リ

残置候

廿三日大雨天、九ツ時々霞ル
一赤谷山木屋々大坂上リ、左ノ方ウ子通り

平村之内山かうの谷見分、大箱峠之下、此所高野山本

海道也、茅木屋・茶屋

一今西村之内大股泊リ、此道四里程 宿つたや伝四郎
庄や吉三郎

此所人家大小六軒

今西本村共高十六石、内三石六斗五升荒引

人家合拾九軒、大下品之村、山カセキ計ニ而

日ヲ送申所也

廿四日晴天
一今西之内、同所々猿飼谷見分、上人参式拾根程出ル、

夫々茅木屋・茶屋下横通り、杉山江出ル

手分ケ之筋、高添谷之内所々見分、夫々星輪峯、右之

所々も上人参廿根出、夫々何れも同道帰ル

一同所泊リ、此道難所三里余 同所宿

此所五ヶ村、北股村・檜木股村・弓手原村・平村・今

西村、右之村々信州と同事ニ而雪殊外ふり申所ニ而、

十月頃々段々溜リ、七八尺々耆丈余迄溜リ申事多シト

云、二三月頃迄ハ雪持越、甚難儀成所之天下品村方也

六月廿四五日ニ罷在候処ニ、朝晩ハ江戸之十月頃程ニ

寒シ、かや抔ヲ張候事ハ不覚と云

廿五日晴天、九ツ時々雨天雷致ス
一今西之内大股々登リ坂段々高野山迄、水ヶ峯峠茶屋三

軒有、此所ニ名水有

右之所々少先国境、東南ノ方和州吉野郡幸田善大夫御

代官所、西北紀州伊都郡高野領也

大滝口々入、大滝村、夫々弁才天坂〇ス、キ峠〇さじ

き峠、椽休場〇ロクロ峠〇小田原口

(中略)

天句茶屋一軒有、此所国境、西北紀州伊都郡高野領、

東南和州吉野郡幸田善大夫御代官、(所脱)此所迄高野の一里

野川組上村・中村○柞原村○平川村○今井村○中原村

一坂本村泊リ、此道五里程、小坂数々 宿百性左右衛門庄や平七

此所高百四拾、(石脱)人家十八軒、中品之村也

此所ニ而いせ状参、同廿七日返事出ス

一坂本村々川渡、上リニ中品黄耆○黎蘆○麻黄有

簾村、此所迄十二村郷也、領境三名郷・塩ノ谷村、大

前向と云瀬辻と云所々所々上人参式拾余出ル、塩野

村川ノ向ニ応ノ谷と云所々上人参四拾根余出ル、山西

村之内山西前と云所之竹藪々上人参二拾根余出ル

一山西村泊リ、此道弐里、坂数々有難所也

此所高百五石六斗五升二合 宿年寄弥太郎庄や半左衛門

人家弐拾五軒

一同村々氏神山并其近辺見分、上人参七拾根出ル、夫々

庵住村之内タヌキ岩谷○栃谷迄其辺不残見、上人参廿

根出ル、同道帰ル山西迄

一山西村泊リ、此道三里程

宿同人

廿九日晴天 一同村々○庵住村、此迄三名郷、和田村、是々天ノ川

郷、此所々大嶺山見分、上品人参六根出ル、かまぬか

山右弐ヶ所、栃尾村、此所大屋峯見分、上人参五六根

出ル、九尾村、此所赤石向見分、此所々上品人参八九

根出ル、日裏村大野藪々上品人参拾五根出ル

一坪内村泊リ、此道三里程、少々宛ノ坂有

此所百弐拾六石二斗五升三合

人家四拾六軒

宿庄屋頼之助年寄大蔵之丞

此所名高弁財天社四間四面南向、毎年十月亥日每祭

别当琵琶山白飯寺妙音院

社僧職位権大僧都法印 御所坊

同社僧 理性院

社 家 式拾四人

晦日晴天 一同所々大谷筋見分、中程々右坪内村へ帰ル、此道上下

二り余、夫々日裏村○沢原村○小原村

一中谷村泊リ、此道三里程

此所高八拾七石六斗八升八合

宿 年寄 利兵衛

庄屋見習 藤左衛門

人家拾七軒

七月朔日晴天、七ツ時夕立大雷致
一同所々此辺見分、尤手分ケ之筋洞川村高青山辺迄見分、此道上下五里余

一同所泊リ

宿同人

二日晴天、九ツ時夕立雨去天氣

一天ノ川中谷村々○沢原村○迫り石、是々見分ニ池ノ谷

筋江入、不動峠、此所領境天ノ川郷、是迄一里大難所、

坂計

平尾村之内、日裏村之内所々見分、上人参式拾根程出ル、竹藪共ニ見分致ス

一日裏村泊、此道式里程坂多シ

宿庄屋藤左衛門

此所高九十九石五斗五升九合、人家三十軒

三日晴天、九ツ時夕立大雷致ス

一日裏村々○タコラ峠拾丁計之坂也、此辺日裏村・迫村

立合山々、土朱之様成ニツチト云物有、字ハ落蔵と云

山ニ有、日裏村之者源四郎帰申候

檜川廻村○大峯村○津越村、陰池村(地)○川峯村○城戸村

此辺迄所々杉山并藪見分仕候処、上人参三四拾根出ル

一 小古田村泊リ、此道式里半余

一カウ寺
宿西蓮寺

此所高八拾九石六斗七升
庄や源右衛門

人家式拾老軒、大下品之村方也

四日半晴
一同所々檜川迫村辺迄跡江帰ル、里山并竹藪見分仕

一 小古田村泊リ、此道上下三里程

宿同寺

五日晴天

一 小古田村々○唐土村○平原村○栃原村、下市薬園場江

一下市村泊リ、此道式里半程

宿馬丁場本ゴケ

六日晴天

一同所々薬園場普請ニ取懸

一同所泊リ

宿同所

辻堂村江手分之者廿六日ニ着、高取右門佐殿内山内金大夫参

一同所々(願)頼行寺借植置候薬草見分ニ行、夫々薬園場江参

一同所泊リ

八日晴天、九ツ時夕立小雨天

一同所々薬草植場江懸リ

一同泊リ

宿同人

九日晴天
一同所々薬園場江行

一同所泊リ

宿同人

十日晴天、九ツ時夕立大雷ナレ

一同所泊リ

宿同人

十一日晴天
一同所々普請場江行

一同泊リ
宿同人

十二日晴天
一同所々普請場江行

一同所泊リ
宿同人

十三日晴天
一同普請所参
南都へ御上書遣ス

一同所泊リ
宿同人

十四日晴天、九ツ過る雨天
一同所々六ツ出仕、普請所

一同泊
宿同人

貞雄方々六月廿八日出書状参、同十四日ニ返

事遣ス

十五日雨天
一同所逗留
宿同人

十六日晴天
一同所々普請所

一同泊リ
宿同人

十七日一日雨天少々宛
一同所々普請所

一同泊
宿同人

今日切ニ普請所植付藁草共相済

南都預リ幸田善大夫々返事来ル

同下ニ川有〇仏坂、此所百部根多シ〇葛籠谷〇栃こも

り谷、夫々帰ル

一小川村泊リ、此道式里半余
宿百性平四郎
庄や新平

此所高九石、人家廿四軒、大下品之村方也

一同村々出テ大山式ツ登リ下リ大難所、是迄東組之内〇

大野村迄老里半程、武蔵迄老里半余

一武蔵村泊、此道四里余ニ覚由難所故
宿万衛門
四十五本鐘之者
庄屋

此所高拾三石式計五升、人家三拾八軒

此辺ニ而八家作共ニ能見ル

同所々拾四五町程行ハ、十津川大川之端ニ温泉有、字

名ヲ湯之谷ト云、右湯甚上品之湯ニ而御座候へ共、何

々参上候ても山坂難所多シ故、入湯之者多ク不仕来、

是ヲシイカナ、湯坪ハ老ツ、其下ニ則滝数々仕懸、是

ニ而打申事甚宜ク、右湯種物サウトクニ甚宜ク聞ト云、
(塵)

湯木屋式間半ニ拾間斗之木屋式軒有、尤此湯気常鉢之

湯通り少青ク悪氣有

十八日雨天
一同所逗留、御用ニ而

十九日雨天
一同所逗留、御用ニ而諸色算用弘方仕候付

二十日晴天、四ツ時々雨少々曇
一同所逗留、右諸処用ニ而
宿同人

廿一日晴天
一下市村々出立、吉野川渡ル、下淵村、此辺幸田善大夫

御預り所、佐名伝村、是乃宇知郡善大夫御代官所、東

阿田村○西阿田村○山田村○原村○住川村庄田小左衛門知行所此所三在村

入組有宇野村同人知行所○今井村、是乃幸田善大夫御代

官所、須惠村○下ノ村根来平八知行所○釜窪村御料

所、下中村同御料所○上中村○上之村同御料、大沢

村、此所大沢峠、此所馬不行

東南和州宇知郡幸田善大夫御代官所

三國境未申ノ方紀州伊都郡

西北河内錦部郡北条遠江守知行所

此所北西ノ方ニ播州海見ル、代官林八左衛門出ル

(中略)

西河内錦部郡石川江遠守領内入組

此所国境

東大和国葛上郡幸田善大夫御代官所私領入組

有

(金剛山)本堂ハ和州之内、五ヶ寺ハ河内国之内ニ有

本尊はうきほさつ、蔵王権現・不動左右三牀也

五眼六手

弘法大師作

南面也、宝物品々多シ

御朱印五拾石別当役者坊大宕坊ト云

外ニ六坊ハ、長床坊○西宝院・実相院○行者坊・石

寺坊○朝原寺、右六坊共ニ七ヶ寺

朝原寺之前之山ニ珍草之無名草有、則持参スル

増村小堀左門知行所

一長柄村泊リ、此道四里程

庄屋忠兵衛
宿中村五郎兵衛
備中守家来

小堀備中之守知行所

此所高式百八拾三石四斗三升五合、上品之村方也

長柄村ニ而江戸状廿三日夜ニ渡ス、蔵へ受取有

廿四日晴天
一長柄村ハ森脇村幸田善大夫御代官所、檜原村同人支配

所○俱尸羅村永井播磨守知行、脇田村恩海郡水野十兵

衛知行所○西辻村○南花内村・新庄村葛下郡幸田善太

夫御代官所、是迄同人知行所、道穂村○弁ノ庄村○中

戸村、是迄御料○大畑村松平甲斐守知行所、太田村東

条信濃守知行所○如意村東条平右衛門知行所、今市村

松平甲斐守知行所○長尾村同知行所、中村角倉与市郎

御代官所○大橋村○当麻村迄御料

此所中将姫マンタラ有之寺、二上山当麻寺、御朱印三

百石、寺数廿軒、真言

右マンタラ大キサ卷丈五尺四方、右マンタラ出来候所

九尺四方之場所、本堂七間ニ裏行六間東西、但堂間也

エンノ行者開記(基)之所也、九百六十七年ニ成ト云、其外

宝物数々何れも中将姫持所之道具也、別ニ北ノ方江根

サ、スト云松有、大キサ八九尺廻、高八九間、少上ニ

奥院ト云所ニ石之鏡大珍物也、其外宝物数々筆ニつく

シカタク

染野村、此所中将姫之染井并糸掛桜有、鳥居丹波守知

行所、新在家村松平甲斐守知行所

一北永井村泊、此道五里程

宿庄屋甚助

此高六百廿石式斗式升五合、人家六十四軒

幸田善太夫方勝右衛門使、嶋かたひら二反被下

返申候

○杉岡弥太郎一家、法隆寺弥勒院

廿六日晴天

一北永井村方南永井村幸田善太夫御預り、今市村○芝屋

村・田中村興福寺領分、蔵ノ庄村幸田善太夫御預り、

猶村藤堂大学頭知行所、櫛(櫛)本村東大寺領分、此所ニ右

ニ人丸ノつか有○自是山辺郡磯上村、此所ニ在原寺五

石ノ御朱印、田部村○河原城村○丹波市村藤堂大学頭

知行所、野方村織田肥前守知行所、佐保ノ庄村織田下

野守知行所、兵庫村織田肥前守知行所、成願寺村織田

下野守知行所、自是式上郡岸田村織田肥前守知行所、

柳本村織田下野守知行所、辻村原新六御代官所、箸中

村・芝村織田肥前守知行所、磯ノ壁村○下田村○今市

村○高村○中筋村・上里村・今泉村○畑田村、是迄松

平甲斐守知行所也

一王寺村泊り、此道五里半程

宿庄や又三郎

此所高九百六拾六石五斗式升七合、人家三百軒

角倉与市郎御代官所

永井播磨守代官矢倉九郎兵衛

角倉与市手代井上九右衛門付

廿四日ニ 玉虫左平代一柳九郎兵衛見也

出ル分 鳥居丹波守役早見喜右衛門

水野十三郎家来林佐左衛門

廿五日晴天

一王寺村方此間ニ川有、是渡候而○京都字頭知行所神南

村、此所を平群郡、是を角倉与市御代官所稻葉村○車瀨村○小吉田村○龍田村、法隆寺村、此所法隆寺御朱印千石、外ニ右付張付置○東福寺村○幸前村、是迄御料○高安村松平甲斐守知行所、東安堵村原新六御代官所○椎木村・今郷村松平甲斐守知行所、小泉村○小林村○西村○筒井村○右四ヶ村片桐石見守知行所、深見藤太夫・岡田孫兵衛出ル、番条村松平甲斐守知行所○横田村興福寺知行所、是を添上郡、是を幸田善太夫御代官所、櫟枝村○千束村○白土村○北ノ庄村

(中略)

茅村織田下野守知行所、馬場村・三輪村、此所右三輪大明神百七拾五石御朱印、金屋村○慈恩寺村○脇本村○黒崎村○出雲村、七ヶ村原新六御代官所

一初瀬村泊、此道六リ余

宿_{長四郎庄や善六}

此高千百四拾八石五斗卷升四合、内五百石長谷寺

分、人家五百九拾四軒

2 古文書

一初瀬山長谷寺御朱印五百石、式丈六尺十一面観音、宝物馬頭婦人之像・鼠とうがひ、此二色唐恵子ゴロノカ

クバン聖人自筆大日経、シヤウ武皇帝自筆之法花経_(聖)

廿七日雨天

一初瀬村を○吉陰村藤堂大学頭知行所○角柄村織田肥前

守知行所、右村迄式上郡、西峠村、是を宇陀郡織田讚

岐守知行所、萩原村鈴木小衛門御代官所○福知村を○

長峯村○山辺村、右三ヶ村織田讚岐守知行所、大野村

を○山辺郡藤堂大学頭知行所、長瀬村同知行所○国境

西和州山辺郡東伊州名張郡

八月朔日 一同所逗留、右病氣付

是を不残藤堂領内

〔(奥書) 明治四十三年五月中、植村政勝氏六代ノ孫

植村政平氏ヨリ著者自筆之原本ヲ借受

ケ写手ヲシテ複写セシメ、後考ニ備フト云

白礫水 識